

横井としおのまじめ話

Vol. 1

さいせいはいたん

夕張市の財政破綻

夕張メロンの産地として有名な、北海道・夕張市が財政破綻しました。

自治体(市町村)の「財政破綻」は、会社だと「倒産」です。会社が倒産すると、会社も社員もなくなりますが、自治体は財政破綻しても、なりません。学校、病院、消防などの行政サービスを行うため、なくせないからです。国の指導で借金を返しながら、健全な財政に再建していくことになっています。

人がいなくなった

夕張市の借金は約630億円。とんでもなく巨額です。どうして、こんなことになったのでしょうか。夕張市は炭鉱の街で、鉱山で多くの人が働いていました。しかし、石油の普及から、石炭産業はさびれ、1990年にはすべての鉱山がなくなり、働く場所がなくなって、多くの人が他所へ出て行きました。

市は、石炭博物館、メロン城、映画のテーマパークなどの施設を次々と建設し、観光の街として再起しようしました。その費用に、沢山の借金をしたのです。観光客を当ての借金でした。

しかし、一時期、年間230万人まで増えた観光客も、その後、景気の低迷などで大きく減りました。

市の人口もピーク約11万人。それが、今では約1万3000人で、市に入る税収も大幅に減りました。

ヤミ起債

自治体の借金は限度があり(起債制限)、実際、平成5年に夕張市は本来借金することができなくなったのです。しかし、それまでと同様な施策をするため、してはいけない借金(ヤミ起債)を内緒でくり返し、借金を重ねていきました。議会も、数年前からどう見ても、明らかにおかしい財政の異常値を、チェックすることができず、膨れ上がる借金を止めることはできなかったのです。

ついに「財政再建団体」に

平成18年6月、夕張市は、国に「財政再建団体」の申請をしました。これ以上は隠し切れないと判断したのでしょう。国の指導のもと、財政の再建を目指します。サービスの低下や、色々な制限がきます。

住民にもかなりの負担がくることとなります。でも、それはこういった政策を行った市長や、チェックできない議員を選んだ住民にも責任があるから、という人もいます。

全国24市町村が赤字

実はこの破綻は、夕張市だけの問題ではないのです。総務省によると2004年度で、赤字の市町村は24あるそうです。この問題に、国も自治体の破綻を防ぐ方法や、破綻した自治体の支援方法を検討していますが、どちらにしても、その内容は住民にとって、ずいぶん厳しいものになりそうです。

結局、しわ寄せは住民に来るのです。市町村は、破綻に至らないよう、しっかりとした財政計画のもと施策を行っていかねばなりません。

美和町は大丈夫かな???

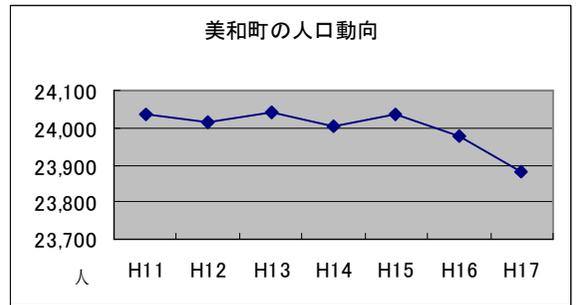
さて、私たちの住む美和町は大丈夫なのでしょう。美和町の状況はどんなものでしょう。まさか、ヤミ起債はないですね。色々な統計のグラフをもとに、少しのぞいて見る事にしましょう。

人は増えているの？ 減っているの？

夕張市が破綻した原因の1番は、石炭産業が廃れて、人口が激減したこと。そして、税収も激減。

街の活力のバロメーターとして、人口がどうなっているか、ということがあります。

グラフをみると、美和町の将来は少し危なそうですが、平成19年2月1日の人口は24,417人と盛り返しています。でも、ある統計によると、平成42年には人口が-5.5%の22,661人になるとでています。また、そのときの高齢者比率は13.3ポイント増えて、26.7%となっています。ちょっと不安がよぎりますね。

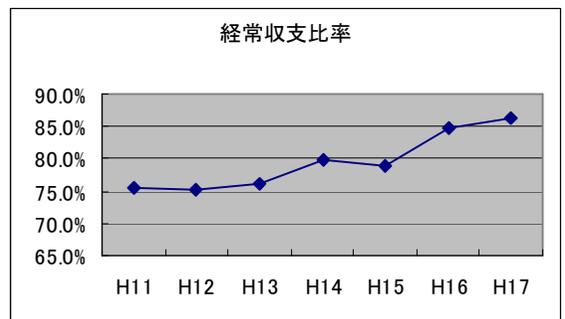


今までと同じ施策はできるの？

夕張市の借金が膨れ上がった原因は、それまでと同様な施策をしようとしたこと。施策の自由度を見るには、経常収支比率というものがあります。

美和町のH17年の経常収支比率は86.2%。家計に例えると、月給の86%を食費や光熱費、家賃や携帯代、月謝、ローンなど、必ず払わなければならない支払いで占められているということ。14%は自由に使えるけど、家を直したり、家電を買ったり、ちょっと遊びに行ったり、貯金もというと、かなり厳しいです。

経常収支比率は90%超が危険ライン。こうしてみると、美和町もかなり危ない。今までと同じように道路を直したり、補助金を出したりしてると、あっという間に「財政再建団体」へ転落？

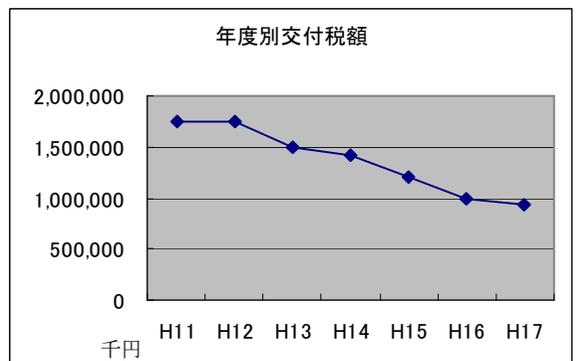
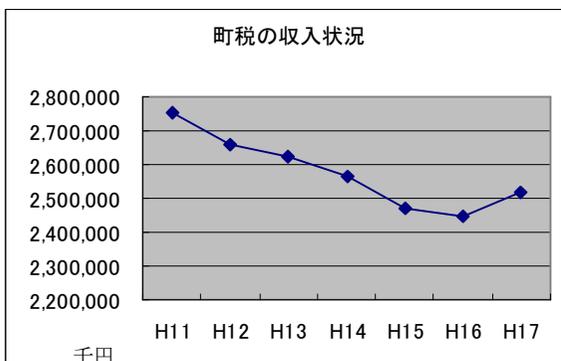


何でこうなるの？

どうも美和町も、決して悠々自適というわけではないようです。それどころか、お尻に火が点きそうなくらいです。どうしてこうなってきたのか!?

当たり前の話ですが、それは収入が減っているのに、支出が抑えられていないということなのです。

町の収入の大きな割合を占める「町税」と「交付税」の動向を見ると、ずーっと右肩下がり。「町税」はH17に少し戻しましたが、交付税はピークのほぼ半分。これではやっていけないですね。



続きは次号で